

みずほCustomer Desk Report 2019/09/11号(As of 2019/09/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.45
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.34	1.1047	118.56	1.2344	0.6864
SYD-NY High	107.59	1.1059	118.79	1.2380	0.6870
SYD-NY Low	107.19	1.1031	118.29	1.2307	0.6849
NY 5:00 PM	107.54	1.1044	118.73	1.2358	0.6861
NY DOW	26,909.43	73.92	日本2年債	-0.2900	3.00bp
NASDAQ	8,084.16	▲ 3.28	日本10年債	-0.2300	3.00bp
S&P	2,979.39	0.96	米国2年債	1.6872	9.34bp
日経平均	21,392.10	73.68	米国5年債	1.6021	10.26bp
TOPIX	1,557.99	6.88	米国10年債	1.7429	9.65bp
シカゴ日経先物	21,455	105	独10年債	-0.5510	3.25bp
ロンドンFT	7,267.95	32.14	英10年債	0.6380	4.90bp
DAX	12,268.71	42.61	豪10年債	1.0870	4.70bp
ハンセン指数	26,683.68	2.28	USDJPY 1M Vol	6.15	▲0.30%
上海総合	3,021.20	▲ 3.54	USDJPY 3M Vol	6.28	▲0.31%
NY金	1,499.20	▲ 11.90	USDJPY 6M Vol	6.54	▲0.16%
WTI	57.40	▲ 0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.45	Yen Call Over
CRB指数	174.94	0.63	EURJPY 3M Vol	6.94	▲0.22%
ドルインデックス	98.33	0.04	EURJPY 6M Vol	7.18	▲0.14%

【昨日の指標等】

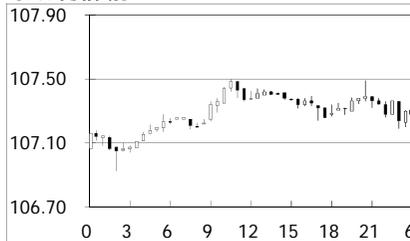
Date	Time	Event	結果	予想
9月10日	10:30	中 CPI(前年比)	8月 2.8%	2.7%
	10:30	中 PPI(前年比)	8月 -0.8%	-0.9%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	7月 3.8%	3.9%

【本日の予定】

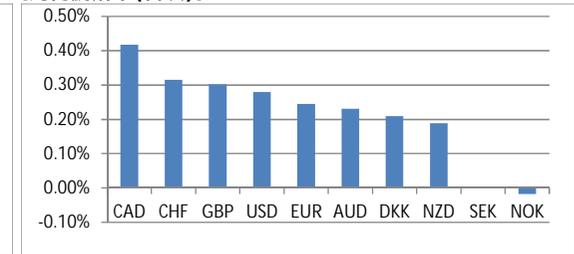
Date	Time	Event	予想	前回
9月11日	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	8月 0.0%/1.7%	0.2%/1.7%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 0.2%	0.2%

東京	東京時間のドル円は107.34レベルでオープン。米中通商協議進展に対する期待で円売りドル買い優勢の展開。日経平均株値の堅調推移や、五・十日にかかる国内輸入企業の実需の円売りドル買いも意識され、一時約1ヶ月ぶりの高値107.50をつけた。その後はドル買い一巡し、107.40付近を中心とした狭いレンジで推移、107.34レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.34レベルでオープン。特段の材料が出ない中、直近の高値圏での推移となった。昼ごろには日銀の緩和観測記事に反応してドル円は107.49まで上昇するも、アジア時間の高値は上回ることができず結局107.37レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2343レベルでオープン。立ち上がりにはポンド買いとなり1.2380まで買われるが、前日の高値に届かなかったことで戻り売りとなり1.2307まで下落する荒い値動き。その後は英7月雇用統計が堅調であったこともあり買い戻され1.2344レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリ- 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場で米中通商協議進展期待に海外市場で107.50まで上昇したドル円は、利食い売りに107.24まで下押しするが、朝方通信社が日銀が追加緩和を前向きに検討との記事を出したことから、107.49まで戻し、107.37レベルでNYオープン。株式市場が軟調に寄り付いたことから円買いが優勢となり、107.19まで下落する。その後は、米農務長官が「トランプ大統領と安倍首相が9月に貿易協定で合意すると期待」との発言や、中国が通商協議で米農作物の購入拡大で合意の見込みとのヘッドラインが伝わったこともあり、ドル円は107.47まで戻す。午後は、新規発行スケジュールを受け、債券市場で売りが強まり、米金利が上昇する展開に、ドル円は107.59まで上昇し、107.54レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、海外市場で1.1059まで戻す局面もあったもののその後はドル買いが強まったことから1.1033まで反落し1.1037レベルでNYオープン。朝方はユーロドルの売りに連れて1.1031まで下落するが、米連邦ECB理事会を控え、積極的にポジションを取る動きは見られず、狭いレンジでの推移が続く。1.1044レベルでクローズした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.20-108.00	1.1000-1.1100	118.10-119.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は底堅く推移した。日銀が18～19日の金融政策決定会合で金融緩和を検討するとの報道からドル買い・円売りが進行、ドル円は107.40円台までじり高に推移。その後、米株の軟調推移を受けて一旦107.10円台まで下落するも、米中通商協議で中国が米農産物の購入拡大で合意との報道が伝わるとドル円は再び107.40円台まで反発。米長期金利の上昇もドル円のサポートとなり、一時107.59円まで上昇した。昨日のドル円の堅調さが目立つが、一方で来週にはFOMCを控えており、市場は徐々に様子見ムードが強まっていくものと予想され、上値追いとなる展開は想定しづらい。本日発表の米8月PPIに注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小笠原・玉井